



凍結路面での転倒に注意しましょう！

毎年、12月から3月にかけて沼田町内において滑りやすい圧雪・凍結路面で転倒し、救急搬送される事案が発生しております。骨折などの大きなケガに繋がる可能性もありますので、「滑るかもしれない」と意識し、下記のポイントを守り転倒事故を防ぎましょう。

《滑りやすい場所》

- 1 重機で除雪後の圧雪路面
玄関先、施設や店舗の駐車場、歩道
- 2 傾斜のある場所
スロープ、坂道、歩道や道路の傾斜部分



《転倒事故を予防するポイント》

- 1 小さい歩幅で急がず、ゆっくり歩く（足の裏全体をつくように歩くとより有効です）
- 2 歩きながら携帯電話やスマートフォンの操作をしない
- 3 両手をふさがない
- 4 帽子や手袋を身に付ける（転倒した際、硬い路面の衝撃から、いづらかでも身を守ります）

★滑りにくい靴として、携帯用スパイクと言われるゴム製の着脱可能な滑り止め等を積極的に使用し転倒を防止しましょう！

あなたの通報で救える命がある！！

皆さんは、「**口頭指導**」という言葉をご存じですか。通報の際には、出勤場所や急病人の状況の聞き取りだけでなく、必要に応じて「**口頭指導**」を実施しております。沼田町においても度々「**口頭指導**」をする事例がありますが、実際に現場で適切に応急手当が行われていない状況があります。

通報したあなたが応急手当をすることで、「大切な人の命を救える」ことがありますので、応急手当のご協力をお願いいたします。

口頭指導とは・・・

119番通報を受けた消防機関（通信指令員）が通報内容から急病人等への応急手当が必要と判断した場合、通報者に口頭で応急手当の方法を指示して協力を要請することです。



▲心肺蘇生法



▲背部叩打法



▲直接圧迫止血法



▲やけどの冷却

※「救急車が来るまで、応急手当を行えるか不安！」という方がおりましたら、沼田消防 救急救助係（35-2050）までお問い合わせください！

